

The Guardian 5 月 23 日の記事

シェイク・モハメドがドバイの競馬でアナボリックステロイドの使用を禁止

ゴドルフィンの調教師への断固たる処分に続いて新たな動き
これまで馬への投薬は調教のうちは許されていた

グレッグウッド

ガーディアン紙、2013 年 5 月 23 日（木）17.11 BST

ゴドルフィンのドーピング・スキャンダルをきっかけとして、ドバイにおける競技用の馬へのアナボリックステロイドの使用は、即座に法律で罰せられる行為となるだろう、とドバイの首長にしてゴドルフィンの創設者であるシェイク・モハメド・アル・マクトウムは、木曜日に明らかにした。

ニューマーケットにあるゴドルフィンのモールトン・パドックでの少なくとも 22 頭の馬に対するアナボリックステロイドの投与を「不幸な最近の出来事」と表現し、シェイク・モハメドは声明文で以下のように述べた。「馬術競技におけるアナボリックステロイドの輸入、販売、購入、使用をアラブ首長国連邦の刑法のもとで刑事犯とする法令を即時の効果を持って発令されるよう指示した」と。

ゴドルフィンのウェブサイトに掲載したシェイクの声明では、この組織の創設者である彼自身は「競馬をはじめその他のあらゆる馬術競技の高潔さを常に信頼している」と述べた。

これに続けて、「残念ながら、ヨーロッパにある私の厩舎の一つは、最近、私が期待し許容できる基準を下回ってしまった。内部調査が完了し、必要なルールが整備されればすぐに、ゴドルフィンはますます強力になり、再び、この優雅なスポーツにおいて最高の基準を順守していくだろう。」

アナボリックステロイドの使用に関するルールが世界中で一致していないことは、2010 年 3 月以来モールトン・パドックでゴドルフィンの調教師をしていたマームード・アル・ザルーニが同調教場の 15 頭の馬に薬物を投与したために先月 8 年間の資格停止処分を受けた際に、注目を集めた。

アル・ザルーニは控訴したが、その際、昨年のセントレジャーの優勝馬エンケを含む少なくともさらに 7 頭の馬も、イギリスがゼロトレランス（いかなる違反も許さない）方針を定めている薬物（一時的に競技の成績を上げるための特殊な薬物）を投与されていたことが、明らかになった。ドバイは、オーストラリア、米国など他にも複数の主要なレース管轄圏と同じように、以前は、競技の時に馬の器官に薬物の痕跡が残っていないことを条件にステロイドの使用を許可していた。

アル・ザルーニは、英国競馬協会（BHA）の懲戒公聴会で、1 月から 3 月の期間に開催されるドバイ・カーニバルで選手を世話するために母国へ定期的に戻っているあいだに、モールトン・パドックで使用するステロイドをドバイから持ち込んでいた、と語ったと伝えられている。

競技用の馬にアナボリックステロイドの使用を禁じるだけでなく、薬の輸入、購入や所持も犯罪とするシェイクの決定を受けて、ドバイは、英国の現行のルールよりもさらに厳格なルールを持っていると主張できることになった。

ドバイのステロイドに関する規則を強化する動きは、6月1日のエプソム・ダービーより前に起こった。シェイク・モハメドは、今回のダービーで、彼の数少ない残された野望であるこの最も有名なクラシックでの優勝を実現したいと思っているのだ。ドーンアプローチが優勝候補として出走が期待されているが、この馬は、昨年ロイヤル・アスコットでコヴェントリー・ステークスに勝利した後、ゴドルフィンがこの子馬の51%の持分を購入したが、アイルランドのジム・ボルジャー厩舎にとどまっていた。

ポール・ストラザーズ（プロ騎手協会の最高経営責任者（CEO））は、汚職防止規則違反を理由としてBHA 懲戒委員会から水曜日に10年間の出場停止処分を受けたエディ・アハーンの控訴をプロ騎手協会が支持する、と木曜日に述べた。

「エディ・アハーンは、無罪を断固主張している」とストラザーズは言った。「あらゆる懲戒手続の事前事後にメンバーをサポートし、必要とされるその後のアドバイスや非金融支援を提供することが、プロ騎手協会の役割である。」